

## 教育委員会委員 を任命



小野 紀章さん

10月1日付けで、小野紀章さん（新町）が、町教育委員会委員に再任されました（2期目）。

引き続き教育委員として、教育行政における重要事項や基本方針などについて協議を行い、決定する役割を務めていただきます。

任期は、令和6年9月30日までの4年間です。

▶避難所開設時に備えて、簡易テントの設置を体験



## 桑折町防災訓練 東日本台風から丸1年

令和2年度地域防災訓練が10月18日、桑折町民体育館をメイン会場に、町と伊達崎地区住民自治協議会共催のもとで行われました。

東日本台風被害から丸1年。地区住民や消防団員など約100人が参加し、新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら、避難所開設時の感染防止策の確認や避難所で使用する

る簡易テントの組み立て訓練、炊き出し訓練などに積極的に取り組みました。

福島地方気象台職員による講演会も実施。「災害は「まさか」ではなく、「いつか」起きるものと認識せよ！『自分は大丈夫』とは思わない！』との呼びかけに住民は熱心に耳を傾け、日ごろの備えを再確認しました。

## 町消防団秋季検閲 地域を守る決意新たに

町消防団の秋季検閲が10月18日、ふれあい公園で行われ、消防団員と女性防火クラブ員ら約200人が参加しました。

今回は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、操法訓練を自粛して実施。当日は、公園に遊びに来ていた親子連れや地域の皆さんが見守る中、観閲や分列行進、通常点検が

行われました。

続く式典では、団長から消防活動に貢献した団員に対し、各種表彰が行われました。併せて、県消防協会伊達支部定例表彰で団体表彰された桑折地区交通安全協会陸合部会と町女性防火クラブへ賞状が伝達されました。参加団員は、町民の信頼に応えられるよう決意を新たにしました。



1、2\_分列行進や通常点検に挑む団員。町民の安全安心を守るため、防災力強化へ決意を新たにしました



▲1人1台タブレット端末を整備します

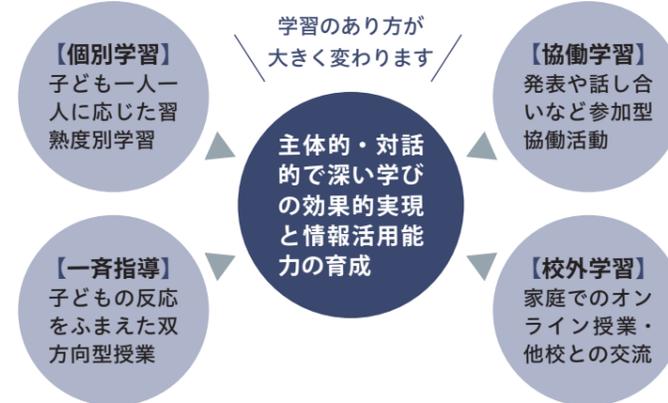
国のGIGAスクール構想への取り組みを通して、「桑折町の15歳のめざす姿（高い志を持って、自分の将来を切り拓いていこうとしている15歳）」の一層の実現を目指すため、来年度から町内の小・中学校でICTを活用した学習が始まります。

来年2月までに、児童・生徒に一人一台のタブレット端末と校内高速大容量通信ネットワークを整備。そして4月以降、既に導入し

### 「GIGAスクール構想」とは

#### 目的

- 1人1台端末と高速大容量通信ネットワークを整備することで、誰一人取り残すことなく公正に個別最適化され、新しい時代に必要な資質・能力を育成できる。
- 家庭でもつながる通信環境を整備することで、学校臨時休業などの緊急時にも子どもの学びを保障する。



ている電子黒板と合わせ、ICTを活用した学びの場を展開していきます。

各校で円滑かつ効果的に学習に活用できるように、町教育委員会と各校教職員などで構成するICT環境整備・活用委員会を設置。10

月1日には、第1回委員会が行われ、整備計画の内容や他校での活用事例などについて話し合いました。

今後も視察研修や協議を重ねながら、本町に合ったICTを活用した学習の充実に努めていきます。

## ICTを活用することで 従来より授業の可能性が 広がっていきます

ICT環境整備・活用委員会委員長  
醸芳小学校校長

高野 孝男さん



いよいよICTを活用した新しい授業が展開されます。例えば、「iPadの画面で友達が書いた考えを参考にしながら、自分の考えを発表する授業」や「子どもたち一人一人の理解状況に応じたコース別の算数科の授業」「音声を何度も自分のペースで聞きながら個別学習に取り組む外国語の授業」「自分の発表の様子を動画で撮影し、発表の仕方を振り返り、表現力を磨く授業」「家庭で担任を画面を見ながら、双方向で学び合うオンラインの授業」などが当たり前になるようになります。子どもたちが、学びの道具としてICTを活用し、情報活用能力を身につけられるように、教職員も研修を積み重ね、幅広い指導力を磨いていきたいです。

### 今後のスケジュール

時期	内容
11月	校内LAN敷設
12月	充電保管庫搬入・組み立て
1月	ネットワーク機器設定
2月	タブレット搬入・動作確認
3月	活用開始
4月	本格活用



小・中学校の教員らが情報共有